

# 第53回 日韓経済人会議

THE 53<sup>rd</sup> JAPAN - KOREA BUSINESS CONFERENCE

----- 2021.11.2 SEOUL, KOREA / TOKYO, JAPAN -----

## 共同声明

### 「日韓、ともに創造する未来」

第53回日韓経済人会議を2021年11月2日に大韓民国ソウル特別市にて、日本国東京都とオンライン接続して開催し、韓国側からは金鉦団長以下113名、日本側は佐々木幹夫団長以下107名が参加した。

世界経済は今もなお、厳しい状況から脱することが出来ていない。コロナ禍に対してはワクチン接種が進むなど好転の兆しが見られるとはいえ、人的往来の制限が続いていることは大きな足かせであり、感染予防のための自粛や制限が経済活動を停滞させる要因の一つであることは今も変わらない。一日も早くコロナ禍が克服され、正常な日常が戻ってくることを願って止まない。

加えて、日韓の政治・外交関係はいまだ出口が見えない。経済面への影響は一時期よりは緩和されてきたとはいえ、今もリスクにさらされている。関係改善には今後も多くの時間が必要となるかもしれないが、少しずつでも進むことを期待したい。

一方、未来に向けた歩みも進んでいる。両国企業による持続可能な開発目標の達成に向けた動きは、確実なものとなってきている。両国にとって、また人類にとって共通の課題でありながらも、その解決は簡単ではなく、達成に向けた日韓の連携も重要となってくる。

このような状況の中、両国の経済人は未来を見据え、「日韓、ともに創造する未来」をテーマに忌憚のない意見を交わし、経済・人材・文化交流の重要性をあらためて確認したうえで、以下のとおり合意した。

- 記 -

#### 1. 新しい未来創造、経済交流の拡大、共通課題への協力

日韓の経済交流の拡大や第三国における協業などが、企業のメリットにとどまらず両国間の結びつきを強くするものとして、また関連する地域への貢献を含め極めて重要である。

また、地球環境や脱炭素など現代社会が直面する課題は多く、解決も容易ではない。この面においても国際協調は重要であり、日韓の経済人は長年協力してきた強固なパートナーシップのもと新しい未来をともに創造していく。

#### 2. 交流・友好のインフラ

連携・協調のベースは相互の理解と信頼である。日韓の経済人は、両国連携の価値が広く認識されるよう積極的に発信する。また、未来に向けた日韓友好のインフラとなるよう、青少年などの次世代交流や、地域間など草の根交流の活性化に取り組む。

#### 3. 政府への期待

円滑なビジネス往来が1日も早く再開されるよう、効果的な対策が実行されることを切望する。

なお、次回の第54回韓日経済人会議は、2022年に日本において開催する。

2021年11月2日

韓国側代表団団長 金 鉦

日本側代表団団長 佐々木幹夫